平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

	事務事業	美名	藤島	調整池整備	事業						担当	当部	都市發	建設部	
	会計区	分	下水	道事業特別	会計		事業	類型	施設藝	整備系	担当	当課	河川調		
	事業期	間	3	平成14年度	<u> </u>	~		平成2	3年度	н.,	担当	当係	河川係	Ŕ	
	総合計画 分野別計	主目的	5	都市基盤		26 河川	·水路		2	雨水	宁留施	設を塾	整備す	3	
	画	副目的													
	予算区	分	款	2	項	1	目		1	大	ļ	5	中	1	
	根拠法令・個	別計画	河川	法、特定都市河	川浸水	被害対策法、٦	水道法	、都市記	計画法、	尾張都	市計画	下水道、	公共下л	く道事業計	†画
		1224	0	市が直接実	[施•道	堂堂		地域值	住民組	l織	0	一部	又は全	部委託	
事	実施•運 方法	'呂'		指定管理・	外郭回	団体	名称:								
				NPO・そ	の 他	<u>也</u>	名称:								
業	目的														
0	(対象をど な状態にす か)			引ポンプ場の 一度程度の∑								設置す	ること	により、	5
概要	内容(手段		設(貯) (工) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	島ポンプ場の 計量5,800m 或21年6,800m 託業計業計業設計 計算大大内容の 計算でである。 計算では に補償物件	i)を建 了) 】 】 受託 養務の	設した。 総事業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	費 8億 1件 35棟 10棟	53千万 - (委 「 (委 「 (委		178 -1 4,830= 1,097=	-円) F円) F円)	コンク!	J 一 ト雨	ī水貯留	'施
	受益者負	担	無	内容											

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
		直接	経費	千円	83,729	7,202	1,903
		正職員	従事者数	人	0.40	0.10	0.01
П		正啷貝	人件費	千円	2,146	536	53
	費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
ス		ての心戦員	人件費	千円	0	0	0
		費用	合計	千円	85,875	7,738	1,956
۲		対前	年比	%		9.0	
		一般	財源	千円	74,475	7,738	1,956
	財源	国・県	国·県支出金		6,000	0	0
		その化	也財源	千円	5,400	0	0

		活動指標名	単位		H21	H22	H23
		貯留施設の進捗率	%	目標	100		_
	活	!!	70	実績	100		
4174	動指標	事業損失調査件数	件	目標		35	_
業	標	学术识入 侧互什奴	П	実績		35	
				目標			
				実績			
績		成果指標名	単位		H21	H22	H23
	成	1時間最大52ミリ降雨による浸水 被害の解消	戸	目標	0	0	0
	成果指標	()内は当該年度の時間最大雨量	,	実績	(42) 0	(42) 0	
	標	事業損失補償の進捗率	%	目標	_	100	100
		デ 末 良 八 冊 良 い	/0	実績	_	73	

	事業目的の 達成状況	に調査して	6月に完了した藤島雨水貯留施設の工 、家屋等の損失により補償契約を8件締 もが確認されて、補償が未契約となって「	結した。
事業の自己評	事業を廃止・ 休止したとき の影響		調整池の施工により、周辺家屋に損失る らの補償ができなくなる。	を与えたことによる補償であり、廃止
価	判 定	Α	市が実施(現状維持又は充実)	
(一次評価)	判定理由	藤島雨水た。	調整池整備事業としては、当該補償が前	ー 最後の業務であり、現状維持と判断し
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)	早期に当 指す。	該事業で損失を与えた家屋の所有者に	対し補償し、平成23年度の完了を目

=	判	定	Α	市が実施(現状維持又は充実)
次評価	判定	理由	一次評価の)とおり